

アウトドアアカレッジ特別企画 宮ヶ瀬ダム視察報告

令和7年6月8日（日）実施

アウトドアアカレッジ参加者から、設楽ダム湖面の利用や地域振興の具体化に向けて、先進事例の視察を希望する声があり、宮ヶ瀬ダムの視察が提案されました。住民と行政が一体となり、設楽ダムを活用した地域振興を考える契機とすることを目的として、特別企画(ダム視察)を実施しました。

宮ヶ瀬ダムとは？

神奈川県愛甲郡愛川町などにまたがる中津川に建設された多目的ダムです。高さ156メートルの重力式コンクリートダムで、首都圏最大級の規模を誇ります。洪水調節、水道用水の供給、発電など多くの機能を持ち、特に東京都や神奈川県の重要な水源として利用されています。ダムの完成により宮ヶ瀬湖が誕生し、周辺は観光地としても整備され、自然と触れ合える場所として多くの人々に親しまれています。



視察内容

今回は、宮ヶ瀬ダム周辺振興財団からダムによる地域振興やダム湖面利用に関する取り組み内容や現状などについてご講演いただきました。

その後、宮ヶ瀬湖畔園地の散策し、各施設を見学しました。ダム本体周辺では、観光放流や水と電気に関する資料館を見学しました。



参加者の声

- ・観光とは違う目線で、視察ができてよかった
- ・先進地でどのような取り組みをしているか学ぶことができた
- ・親子連れや愛犬家などで一見にぎわっているようでも、採算が合わないということがわかった など

POINT!!

- ・宮ヶ瀬ダムは、周辺施設を含め、年間140万人が訪れており、地域に還元する取り組みをしている
- ・来訪があっても、施設の維持管理などで金銭的に大きな負担が発生する
- ・宮ヶ瀬ダム湖では、釣りの解禁に向け調査をしている
- ・ダムやダム湖完成後、湖面への降り口やその他の施設を整備するのは難しい
- ・ダム建設段階から、民間、行政、事業者など関係者が連携することで、ダムによる地域振興が実現できる

問い合わせ先 設楽町企画ダム対策課 0536-62-0514